

にこにこ通信

(令和6年度 1号)

自然に触れ、秋を楽しんでいます。

暑かった夏が過ぎ、子どもたちは戸外で秋の自然に触れ、身体を思いきり動かして遊んでいます。散歩に出かけていろいろな発見を友だちや保育者と共有したり、木の実などを見つけて制作活動も楽しんだりしています。10月には運動会を行いました。保護者の方々とも触れ合い楽しいひとときを過ごしました。

公園でかくれんぼ。
それぞれ場所を探して、そつとそつとかくれます。
保育者が探しに行き「みつけた！」
というと大喜びです。
いろいろな発見も楽しんでいます。



目が合うと
にっこり。



無患子（むくろじ）ってなに？

触ってにおいをかいみると…「ふにふにしてる」「パンのにおい？」「どんぐりじゃないね」と子どもたち。

水と一緒にペットボトルに入れてフリフリすると、泡が出現。泡に洗浄作用があるとのことで、布にクレヨンで線を描き、洗ってみるときれいに落ちていて、大喜びでした。

ピカピカ実験大成功！

暑い時期が終わり、思いきり戸外で遊ぶことができるようになりました。

園庭でドッジボール、ひょうたん鬼などに年長、年中児が一緒に参加し、ルールを教えてもらったり、虫探しや様々な遊びでも異年齢で関わる姿が増え、つながりが広がってきています。

乳児クラスの子どもたちも園庭で探索活動や砂場遊びなどを楽しんでいます。

